

みどり施策が目指す
将来像について

第150回緑化委員会



みどりを巡る現状

- 1 練馬のみどりの8割は、民有のみどりである
- 2 公共のみどりは増えているが、民有のみどりは減っている
- 3 今後も農地の減少や宅地の細分化で、民有のみどりの減少が予想される
- 4 公共のみどりは増えたことで、維持管理費も増えている
- 5 地域によってみどりに係る状況は異なる

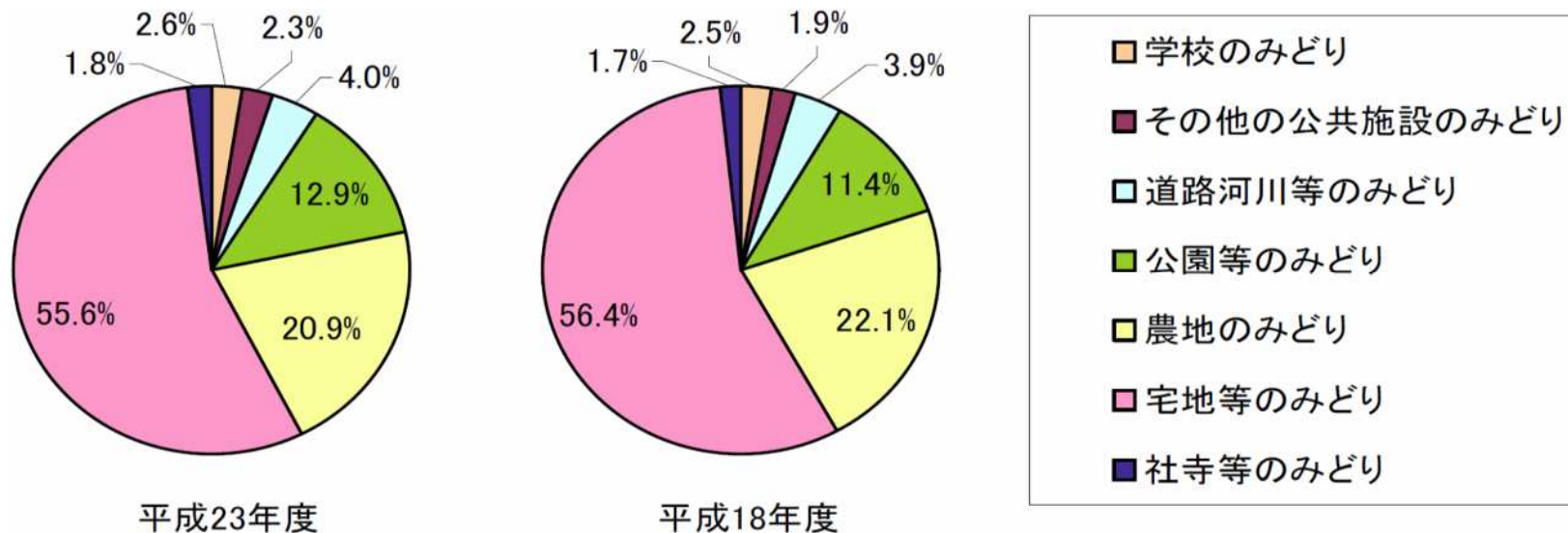
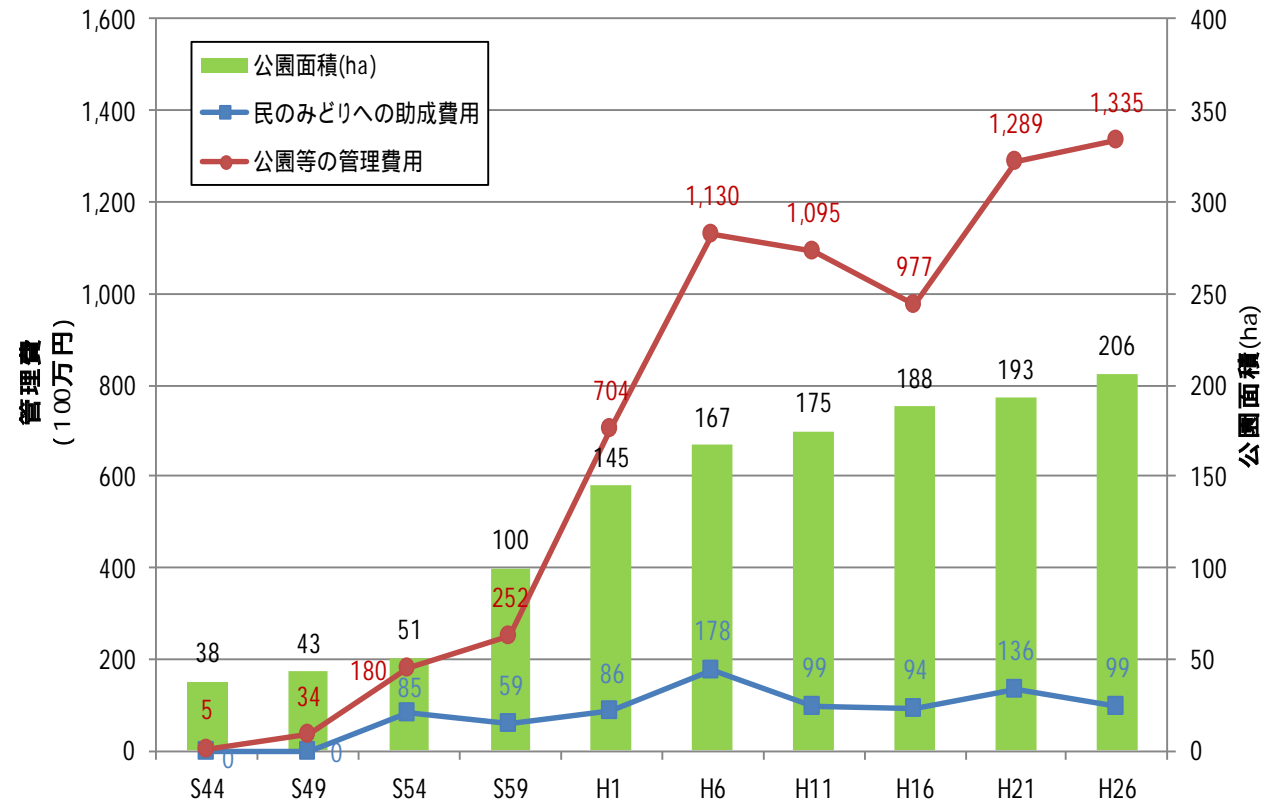


図1 緑被率の内訳の推移

みどりの現況

みどりを巡る現状

- 1 練馬のみどりの8割は、民有のみどりである
- 2 公共のみどりは増えているが、民有のみどりは減っている
- 3 今後も農地の減少や宅地の細分化で、民有のみどりの減少が予想される
- 4 **公共のみどりは増えたことで、維持管理費も増えている**
- 5 地域によってみどりに係る状況は異なる



みどりの現況

図3 公園面積と管理費用の推移

みどりを巡る現状

- 1 練馬のみどりの8割は、民有のみどりである
- 2 公共のみどりは増えているが、民有のみどりは減っている
- 3 今後も**農地の減少**や宅地の細分化で、民有のみどりの減少が予想される
- 4 公共のみどりは増えたことで、維持管理費も増えている
- 5 地域によってみどりに係る状況は異なる

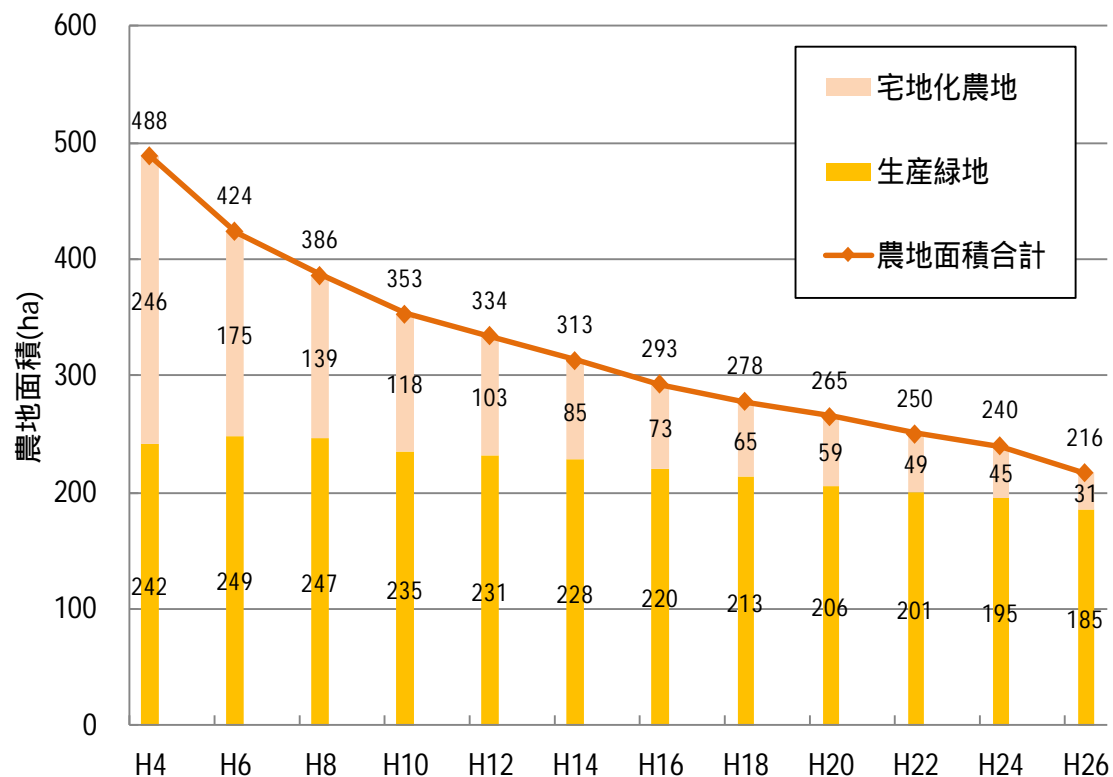


図4 農地面積の推移

みどりの現況

みどりを巡る現状

H27区民意識意向調査

- 1 練馬の住みよと感じるところは、「みどりの豊かさ」が5割
- 2 もっとあるとよいみどりは、「公園のまとまったみどり」、「道路や河川沿いの連続したみどり」5割弱

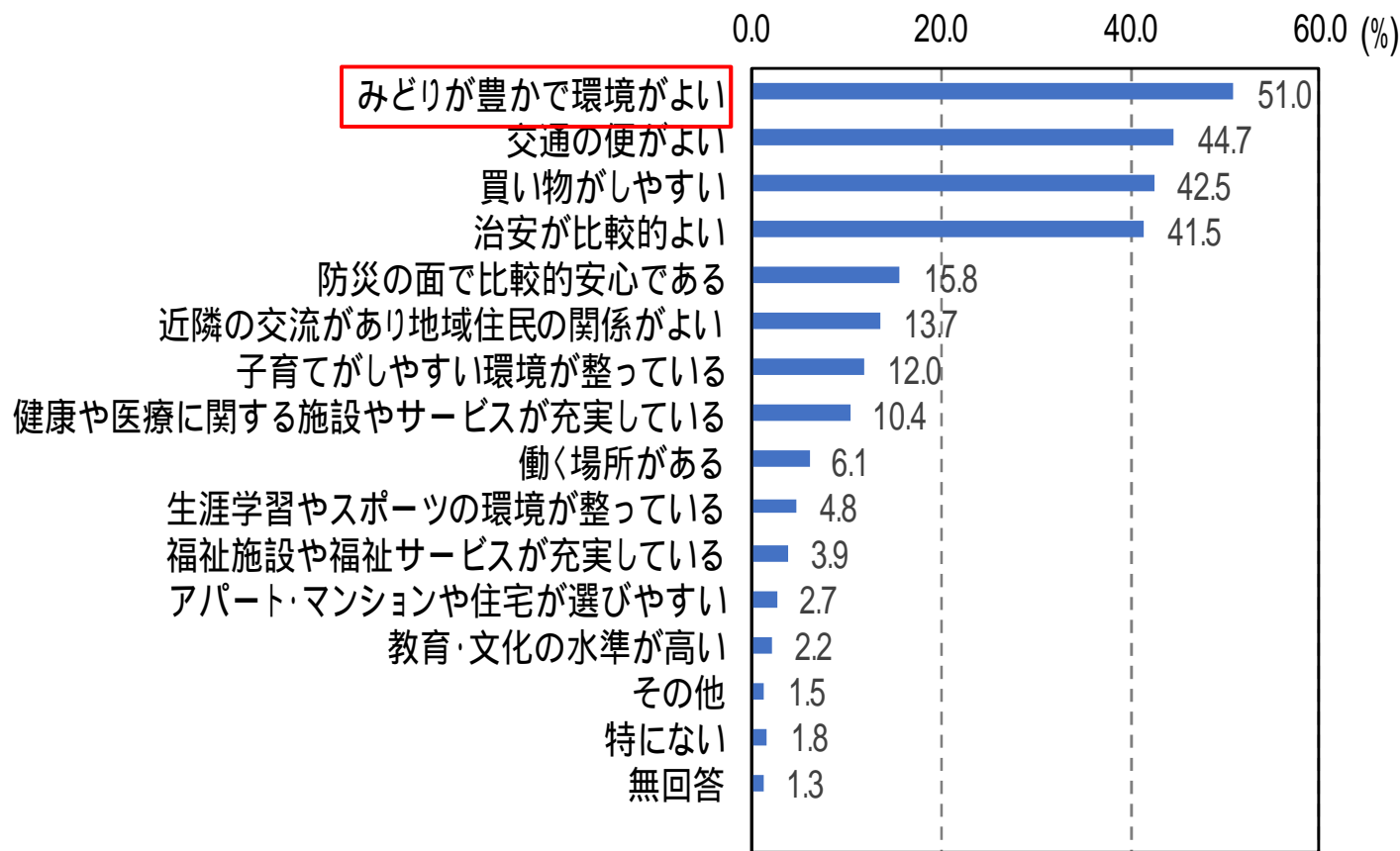


図6 練馬の住みよと感じるところ

みどりにかかる区民意識

みどりを巡る現状

H27区民意識意向調査

- 1 練馬の住みよと感じるところは、「みどりの豊かさ」が5割
- 2 もっとあるとよいみどりは、「公園のまとまったみどり」、「道路や河川沿いの連続したみどり」5割弱

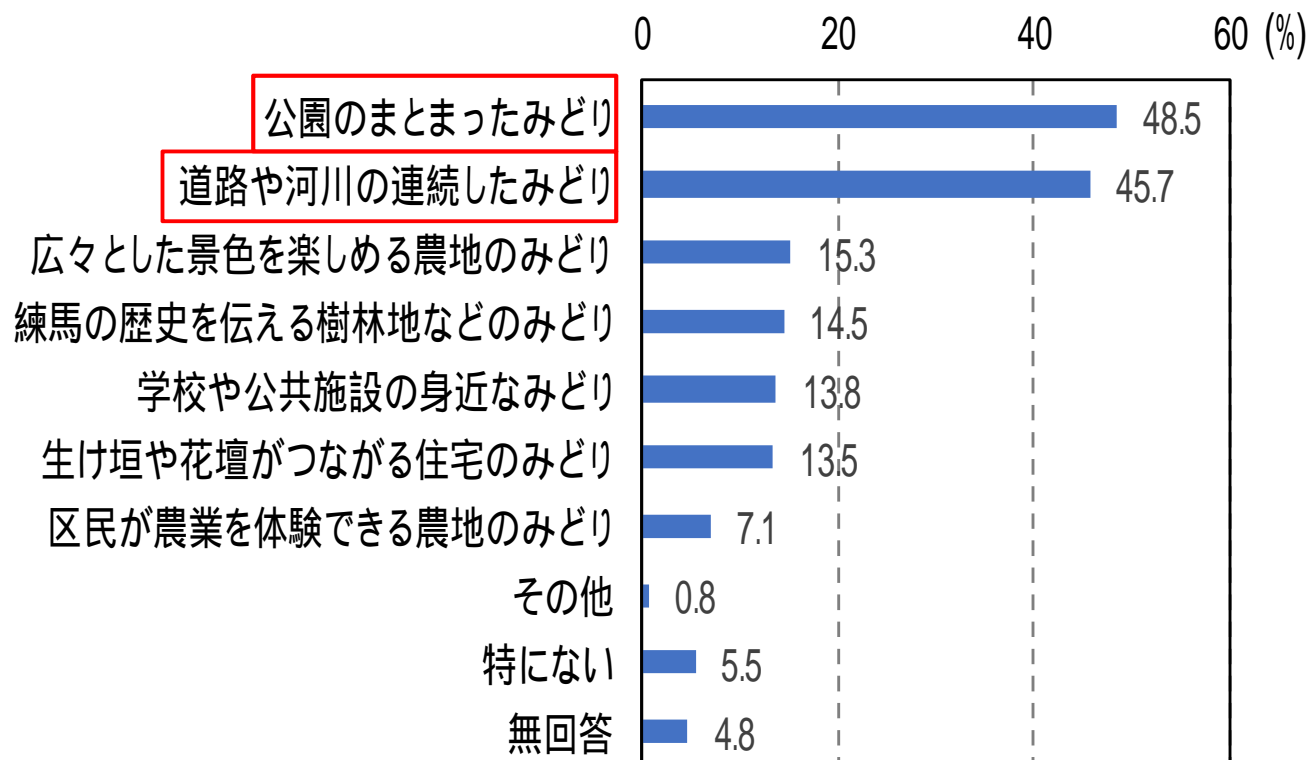


図7 もっとあるとよいみどり

みどりを巡る現状

みどりに対する満足度は
緑被率だけに影響されるわけではない

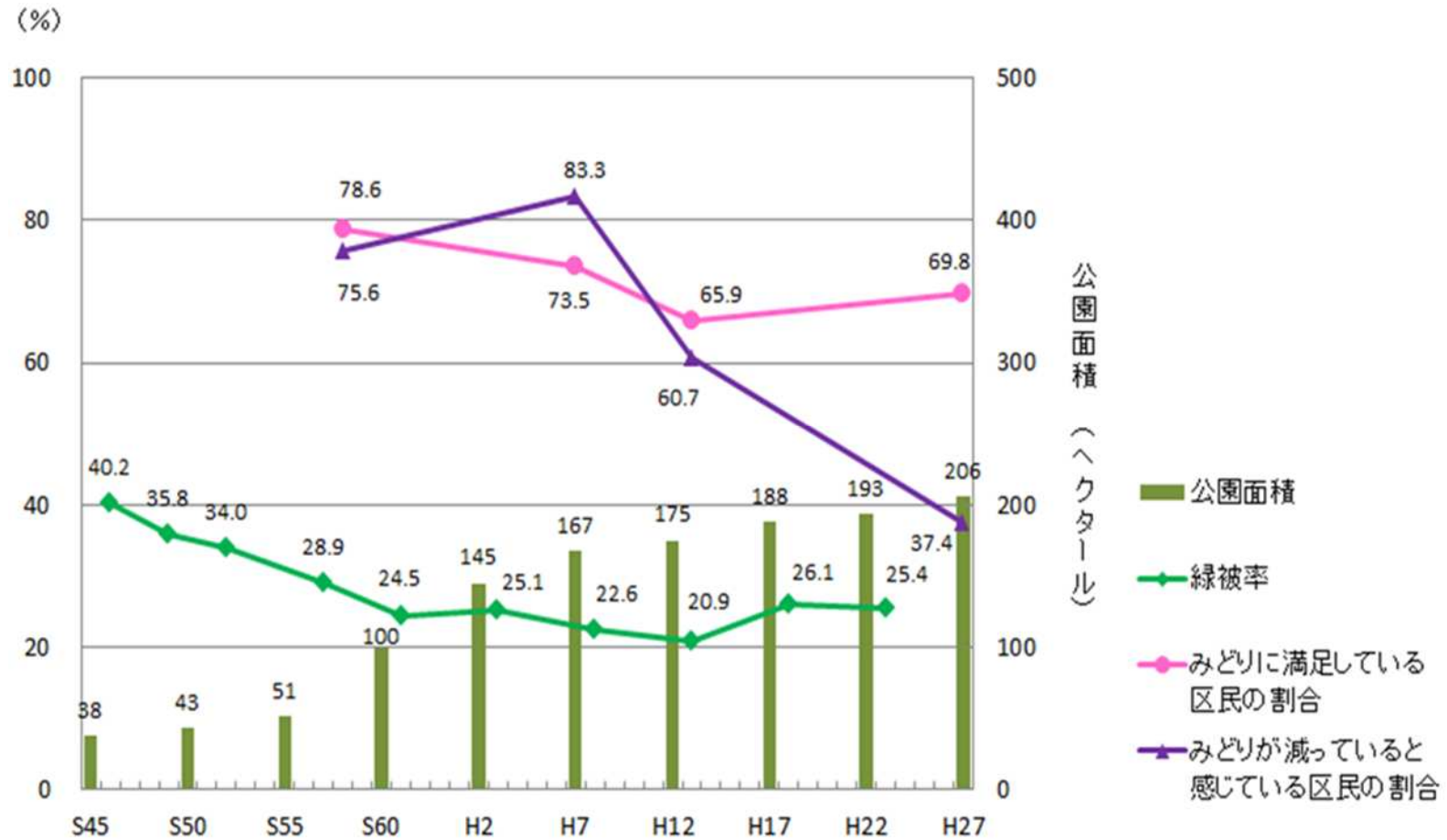


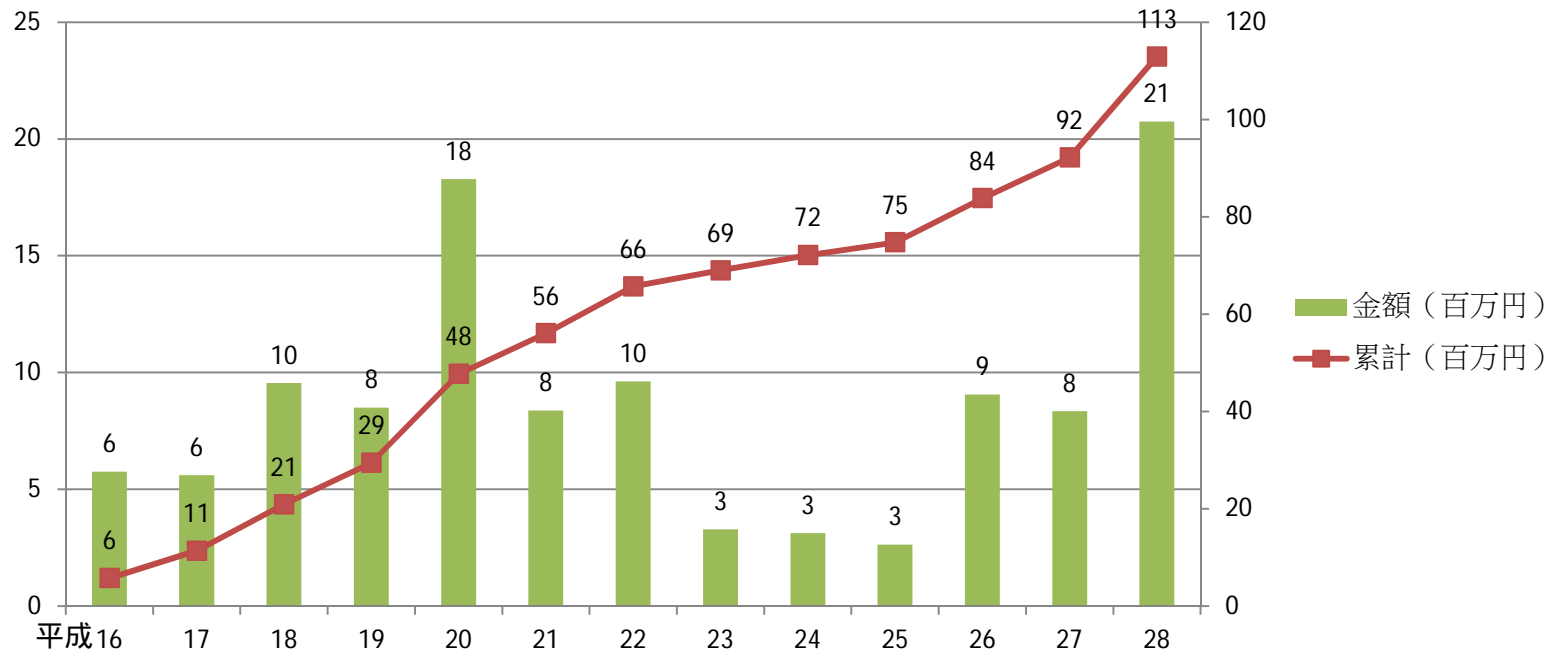
図10 緑被率と区民意識

みどりにかかる区民意識

現行計画の達成状況 1

1 区民みんなでみどりを愛し育みます

【葉っぱい基金一般寄付額の推移】



【公園自主管理 + 公園花壇管理箇所数】

H21 48箇所

H28 52箇所

基本方針別の主な取組状況

現行計画の達成状況 1

4 新しいみどりを広げます

【生け垣延長】

調査年度	箇所数	延長m	平均延長m
H23	7,496	127,206	16.97
H28	7,869	121,632	15.46

【みどりのカーテン】

調査年度	箇所数	面積m ²	平均面積m ²
H23	217	5,914	27.25
H28	325	13,984	43.03

基本方針別の主な取組状況

現行計画の達成状況 1

5 みどりと水のネットワークをつくります

【大規模公園等の整備】

大泉学園町希望が丘公園	10,100m ²
大泉町もみじやま公園	17,482m ²
中村かしわ公園	14,674m ²
西大泉こさくっぱら緑地	7,103m ²
石神井松の風文化公園	47,735m ²
(仮称)清水山公園	10,640m ²
ローズガーデン開園	
こどもの森緑地開園	
牧野記念庭園改修(拡張)	



中村かしわ公園

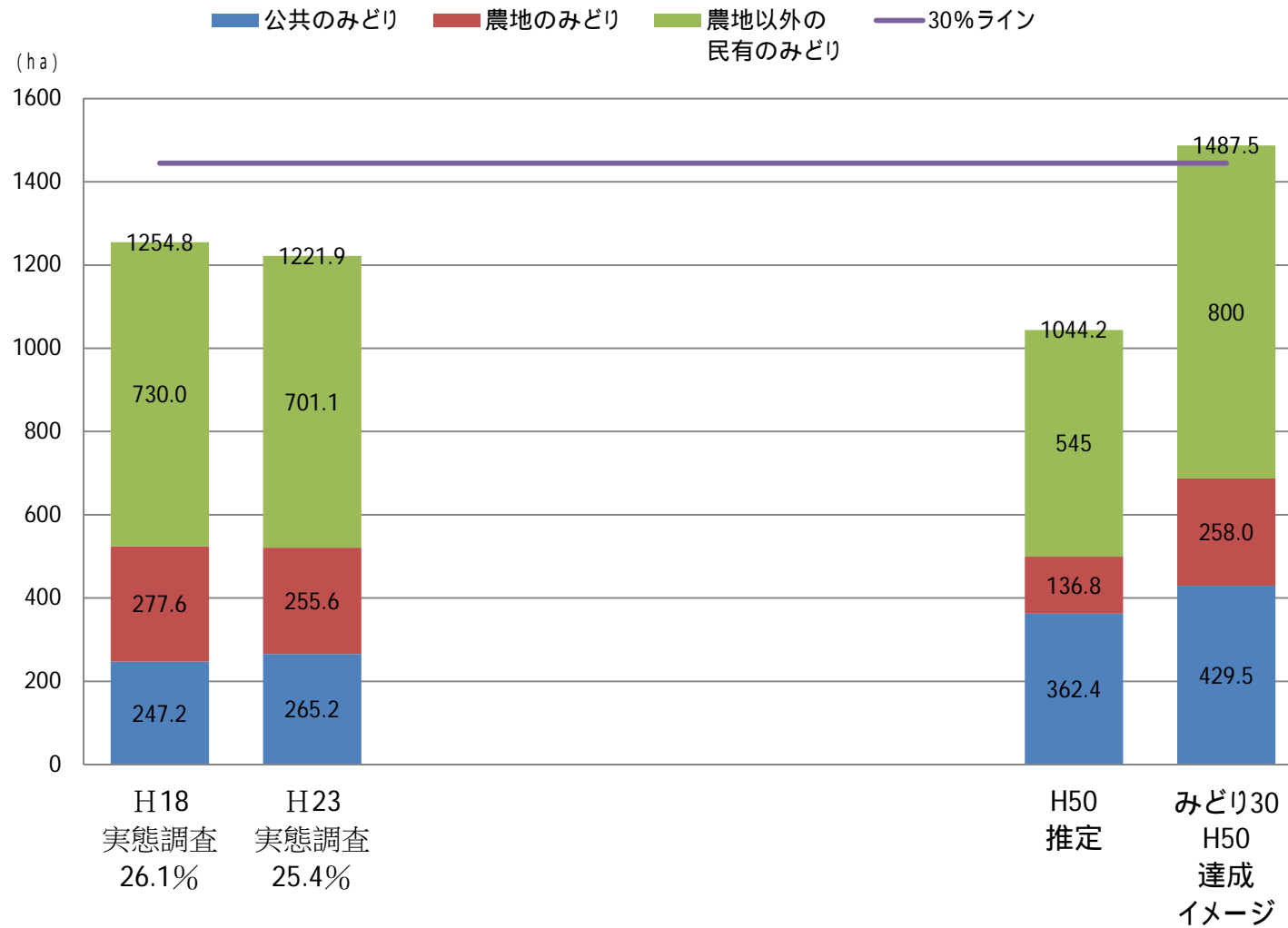


四季の香ローズガーデン

基本方針別の主な取組状況

現行計画の達成状況 1

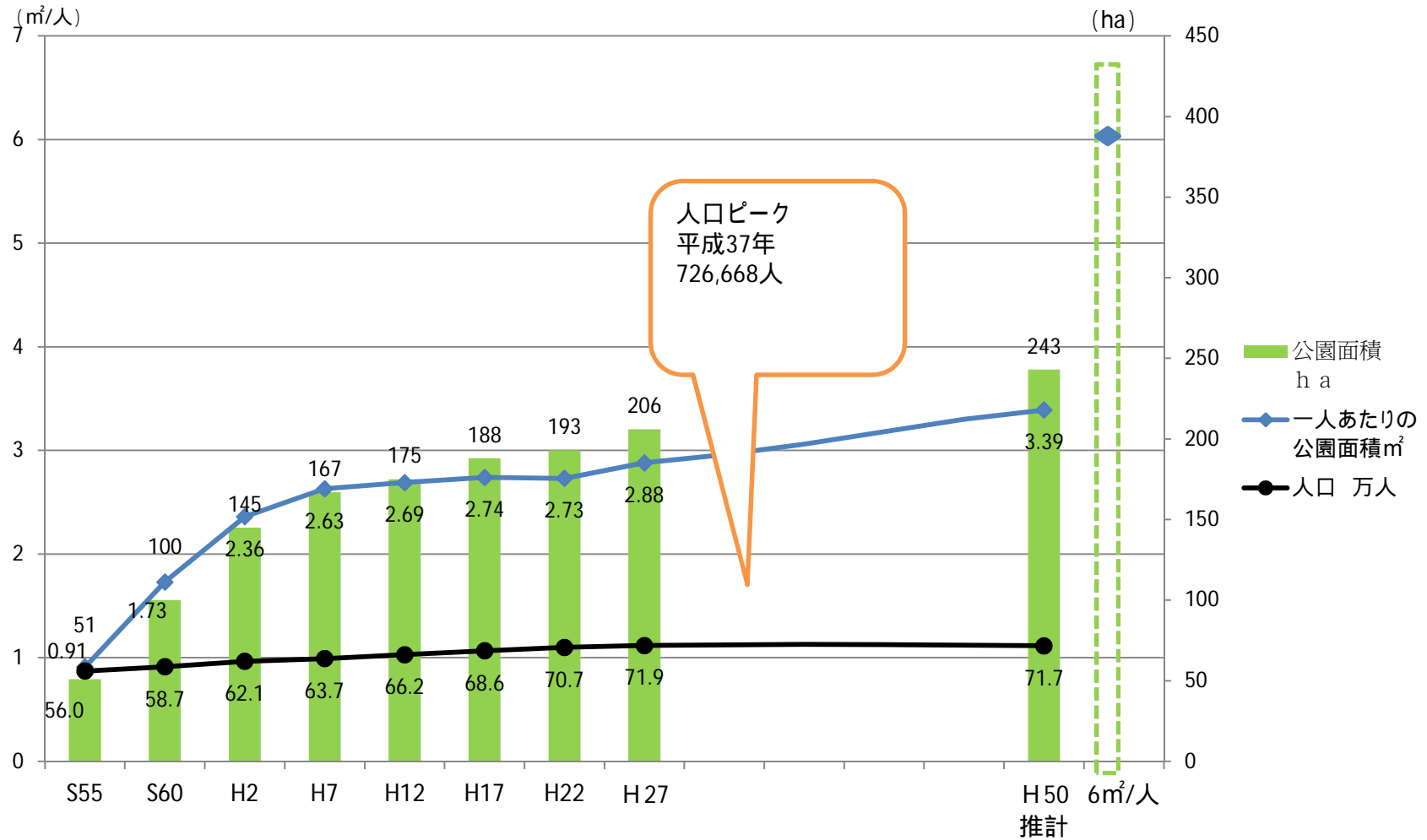
緑被地の構成



緑被率 30%

現行計画の達成状況 1

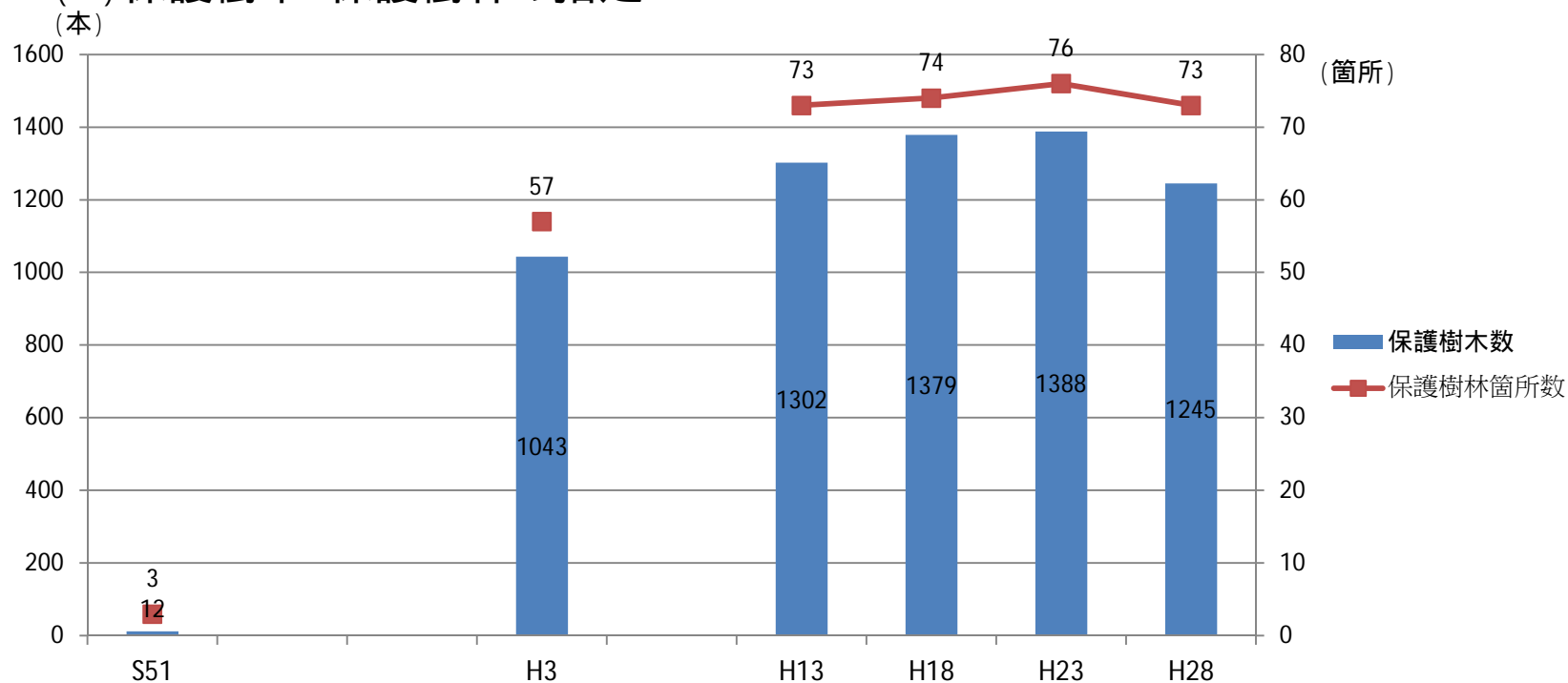
人口と公園面積の推移



区民一人あたりの公園面積 6 m²

現行計画の達成状況 2

(1) 保護樹木・保護樹林の指定



(2) 保護樹林・樹木の管理支援の拡充

平成24年から、保護樹木の個人所有者向けに、落葉の無料収集を開始(10袋/年・本)。
平成26年から、補助金の一律支給から、要した剪定費用への補助金支給へと切替。
(ただし保護樹林については、面積に応じた一律支給も実施)

宅地のみどりにかかるこれまでの取組 保全系

現行計画の達成状況 2

(3) 市民緑地(憩いの森・街かどの森)の開設

これまでの開設箇所数 80箇所 (現在45箇所)
うち区立緑地となった数(公有地化した数) 21箇所
うち契約解除した数 14箇所



清水山憩いの森 (現在工事中)



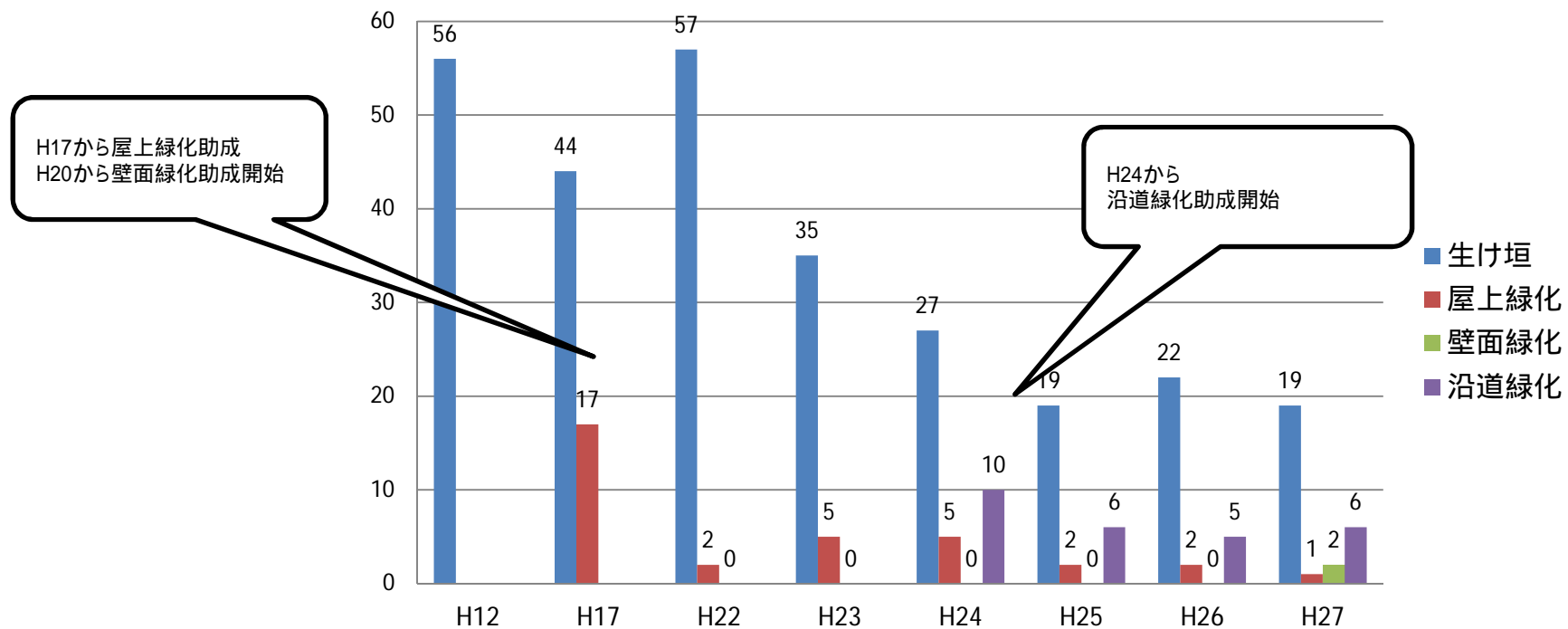
けやき憩いの森

宅地のみどりにかかるこれまでの取組 保全系

現行計画の達成状況 2

(1) 緑化助成の推進

年間助成件数



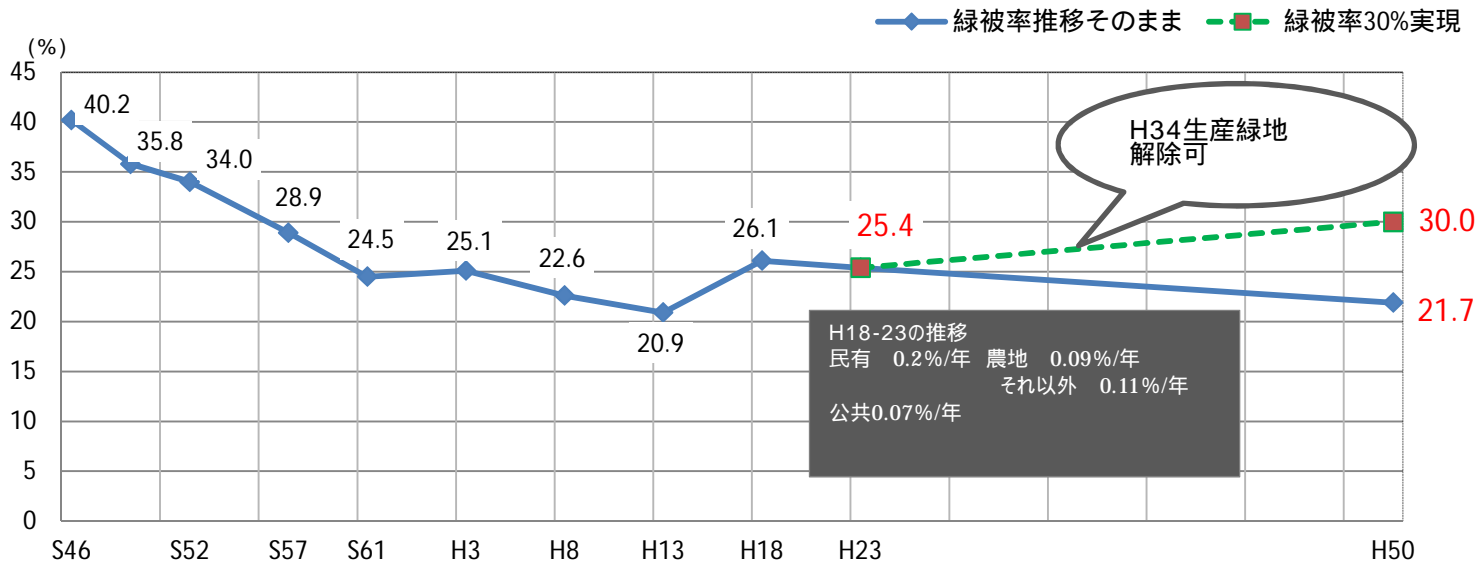
(2) みどりの協定

地域単位や集合住宅等での緑化を推進するため、地域住民等と区が協定を結び、5年間、区が苗木を支給。

これまでの協定地区数は 44地区(約1000ha以上) (現在 14地区)。

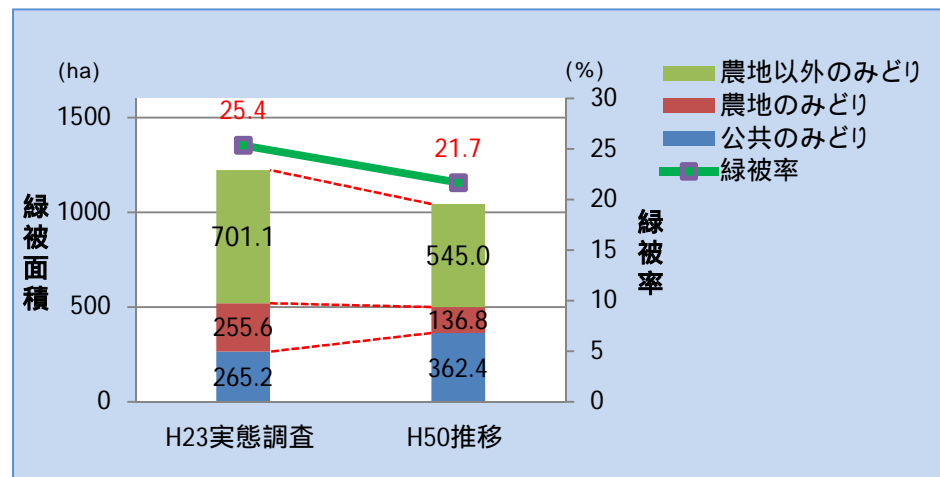
宅地のみどりにかかるこれまでの取組 創出系

緑被率30%を実現するためには



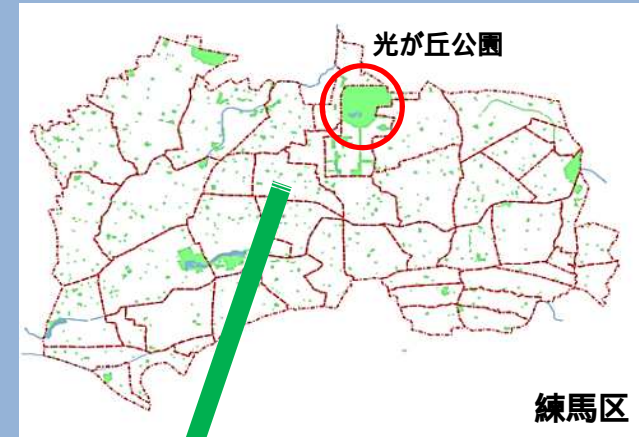
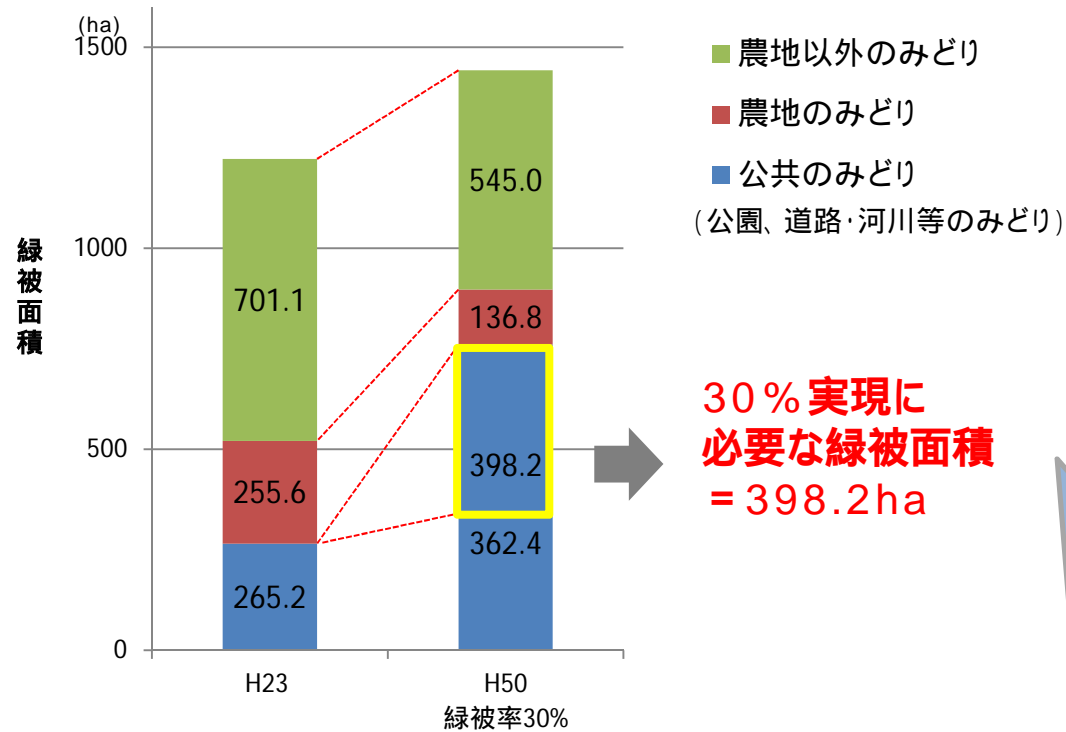
この推移がそのまま続くと...

	H23	H50	
私有のみどり	956.7ha	681.8ha	274.9ha
公共のみどり (公園、道路・河川等のみどり)	265.2ha	362.4ha	97.2ha
		計	177.7ha
	H23	H50	
緑被率	25.4%	21.7%	



練馬区の緑被率の推移

緑被率30%を実現するためには



緑被率30%を実現するために必要な面積

緑被率30%を実現するためには

必要な面積

・公園の緑被率約73% 545.5ha
↓
H50までの減少予測分農地82.1ha
残りは宅地 463.4ha

農地82.1ha
+
宅地463.4ha
(約32,000戸相当)

H28公園現況
207.4ha
と合計すると
公園面積
約10.5m²/人

必要な予算

・公園用地費 @351,800 × 545.5ha 1兆9191億円(総額)
区平均公示価格(住宅地351,800円/m²)

年間711億円の用地費

H28区一般会計
予算約2,599億円
の約1/4

398.2haの緑被面積を全て公園で確保する場合

緑被率30%を実現するためには

必要な面積

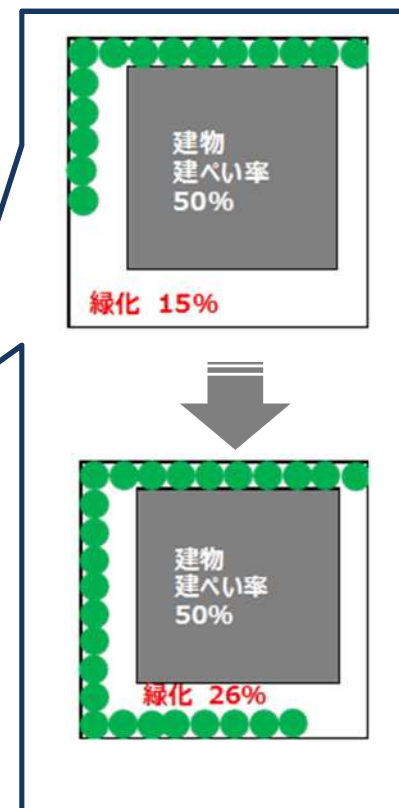
- ・公園面積 151.1ha (H50人口推計約71.7万人)
- ・戸建住宅の敷地面積の約26%の緑化
(基準15% + 約11%の緑化)

必要な予算

- ・公園用地費 @351,800 × 151.1ha 5,316億円(総額)
区平均公示価格(住宅地351,800円/㎡)
358.5 - 207.4ha(H28公園現況) = 151.1ha

公園面積151.1ha
+
戸建住宅は
面積の約26%の緑化

年間197億円の用地費



都市公園面積標準5㎡/人を公園で確保し、
残りを民有の緑化で対応した場合

これからの都市のみどり

これからの都市に求められる緑地の役割

都市の社会的課題

急激な人口減少 / 少子高齢化

自然災害リスクの高まり

地球環境問題の深刻化

都市間競争などグローバル化の進展



課題解決

緑の多機能性

- ・ 環境共生社会
- ・ 安全安心の確保
- ・ 地域コミュニティの醸成
- ・ 健康福祉の向上
- ・ 経済・活力の維持



国の方向性

これからの都市のみどり

「これまでの緑の基本計画は、緑被率と一人あたりの公園面積という指標を、そのまま目標としている場合も多かった。しかし、緑の量の増加が緑の機能増大に単純につながるわけではない。また、一人あたりの公園面積は、人口増加中であれば指標として有効な側面もあるが、人口が減少すれば自然に増えるため、指標として限界がきているともいえる。」
(同書p.23「現在の指標の課題」より)



国の方向性

これからの都市のみどり

これからの都市緑地計画の新たな視点

- (1) グリーン・インフラストラクチャーの形成
 - 例 雨水浸透による水害の抑制
 - 避難地や延焼遮断帯としての防災減災
- (2) 環境負荷の低減とQOL（生活の質）の向上
 - 例 ヒートアイランド現象緩和、CO2吸収
 - 景観向上によるストレスの軽減
- (3) 地域が抱える社会問題の解決
 - 例 高齢者の健康維持・増進
 - こどもの外遊びを通じた健全育成
 - 地域コミュニティ強化による犯罪防止や防災力の向上
- (4) 自然環境構造に基づく都市の再生
 - 例 自然地形を残した緑地保全
 - 団地建替による緑地再生
- (5) 緑地由来生物資源の地域内循環
 - 例 公園や緑地から発生するバイオマス活用
 - 地産地消と給食等を通じた食育の推進
- (6) 他分野の専門家との協働
 - 例 医療福祉分野との連携、教育分野との連携

これからの都市のみどり

カシニワ制度（柏市）

- ・ 柏市内の樹林地や空き地や一般公開可能な個人の庭を市民団体等が主体的に管理、利用する制度



経堂の杜（世田谷区）

- ・ 屋敷林など既存緑地を活用した環境共生型集合住宅開発の取組み



東京23区の緑被率

